

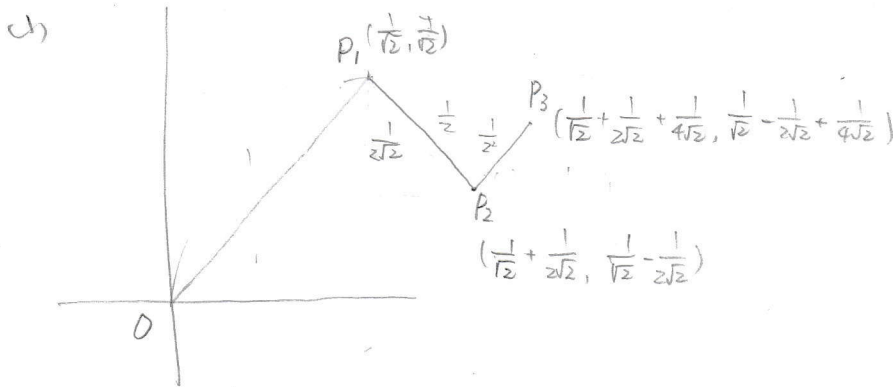
要約第21

xy 平面上で、原点 O を出発して、 x 軸の正の方向と 45° をなす方向に 1 だけ進んだ点を P_1 とする。 P_1 において直角に右折して $\frac{1}{2}$ だけ進んだ点を P_2 とする。 P_2 において直角に左折して $\frac{1}{2^2}$ だけ進んだ点を P_3 とする。以下同様にして、 n が奇数のときは P_n において直角に右折して、 n が偶数のときは P_n において直角に左折してそれぞれ $\frac{1}{2^n}$ だけ進んだ点を P_{n+1} とする。 n を限りなく大きくしたとき、 P_n は定点 A に限りなく近づく。

(1) $OP_1 + \sum_{n=1}^{\infty} P_n P_{n+1}$ を求めよ。

(2) 定点 A の座標を求めよ。

[愛知工大]



$P_n P_{n+1}$ の一般項は $(\frac{1}{2})^n$ となる

$OP_1 + \sum_{n=1}^{\infty} P_n P_{n+1} = 1 + \frac{\frac{1}{2}}{1 - \frac{1}{2}} = 2$

(2)

P_n の x 座標は一般項 $\frac{1}{\sqrt{2}} (\frac{1}{2})^{n-1}$ となり $\frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{1 - \frac{1}{2}} = \frac{2}{\sqrt{2}} = \sqrt{2}$

P_n の y 座標は一般項 $\frac{1}{\sqrt{2}} (-\frac{1}{2})^{n-1}$ となり $\frac{1}{\sqrt{2}} \cdot \frac{1}{1 + \frac{1}{2}} = \frac{2}{3\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}}{3}$

∴ 定点 A は $(\sqrt{2}, \frac{\sqrt{2}}{3})$

ミスが多い